

1 活動名 ネオニコチノイド系農薬規制のフランス最新事情セミナー参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題 松枯れ対策空中散布薬剤として、ネオニコチノイド系農薬アセタミプリドを散布し続けていること

(2) 研修の必要性 ネオニコチノイド系農薬規制を巡る世界の最新事情と日本の最新研究は施策推進に必要

(3) 研修項目 研修内容と同様

3 研修内容

(1) 日時 令和元年8月3日

(2) 会場 新宿区立環境学習センター（東京都新宿区西新宿）

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

ア フランスのオーガニック最新事情

イ ネオニコチノイド系農薬規制の経緯とグリホサート禁止運動と政府の農薬対策に関する最新事情

ウ ネオニコチノイド系殺虫剤の人体への影響を示す最新事情

(5) 成果・所感等

日本でのネオニコチノイド系農薬の規制は、世界の動向に反し、緩和されています。フランス在住のジャーナリスト、羽生のり子氏「フランスのオーガニック事情と政府の農薬対策」講演では、農薬対策について世界と日本との違い、オーガニックフードの最新情報、除草剤グリホサート（モンサント製農薬ラウンドアップの成分）の問題と、フランスの市民運動の事情、政府の農薬対策についての最新情報を学びました。

また、東京女子医科大学東医療センター、平久美子医師による、ネオニコチノイド系殺虫剤の問題点、特に、子どもの脳に与える悪影響、そのメカニズムについてのお話はぞっとするものでした。

また、氏もメンバーである北海道大学の池中良徳准教授を中心とする研究グループが、ネオニコチノイドが母体から胎児への移行に関する研究結果を環境化学討論会で発表した論文のお話では、日本人は胎児期からネオニコチノイドの暴露を受けていること、その摂取源は飲食物である可能性が高いことなどを明らかにしました。ネオニコチノイド系殺虫剤の人体への影響を示す最新情報、有機農産物摂取による尿中のネオニコチノイド量の低減に関する調査研究について学びました。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 34800円（交通費 13,000円、資料代 1,000円、宿泊費 14,800円、日当6,000円）